

2020年度

環境経営レポート

対象期間：2020年04月01日～2021年03月31日

作成日：2021年11月01日

改定日：2022年02月01日



目次

- Contents -

- 1 | ご挨拶
- 2 | 組織概要と対象範囲
- 3 | 実施体制
- 4 | 環境経営方針
- 5 | 環境経営目標と実績・評価
- 6 | 環境経営計画の取組・評価
- 7 | 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- 8 | 代表者による全体評価と見直しの結果
- 9 | 次年度の環境経営目標と環境経営計画



地球温暖化、廃棄物の増加、資源エネルギーの枯渇など、環境問題は深刻化しています。

環境保全と企業活動の両立は、企業の果たすべき重要な役割であり、当社は、創業の2014年にエコアクション21を取得するとともに、2014年以降、環境負荷軽減の取り組みを進めています。

これまで、本業での作業効率改善による省エネ、品質改善による廃棄物量の削減、全社員への意識醸成を図りながらの電灯・空調の省エネや廃棄物の3Rの取り組み、省エネ仕様の電灯・空調等の機器への更新などを進めてきました。

また、2020年4月からは、NTTアノードエナジー様のオンサイト型電力供給が稼働し、当社へのグリーン電力の供給が開始されました。これにより、当社のグリーン電力化率は36%となるとともに、二酸化炭素排出量は、前述の取り組み成果も合わせて、2020年度は、2014年度比で、53%削減することができました。

当社は、持続可能な社会の構築に向け、環境保全と企業活動の両立への更なる挑戦を続けていきます。

株式会社 出雲東郷電機

代表取締役社長 前田 和雄

組織概要と対象範囲 - Corporate profile -

事業所名

株式会社 出雲東郷電機

代表者名

代表取締役社長 前田 和雄

所在地

島根県出雲市西林木町626-1

環境管理責任者及び担当者連絡先

※2021年10月より変更あり

環境管理責任者：山崎 晃一
担 当 者：大村 美恵子
TEL 0853-23-1811
FAX 0853-24-8121

事業規模(2021年3月31日現在)

製品出荷額：9億4200万円
社 員 数：116名

事業活動の内容

産業用制御機器（検出スイッチ、
操作スイッチ、センサ）の製造

事業年度

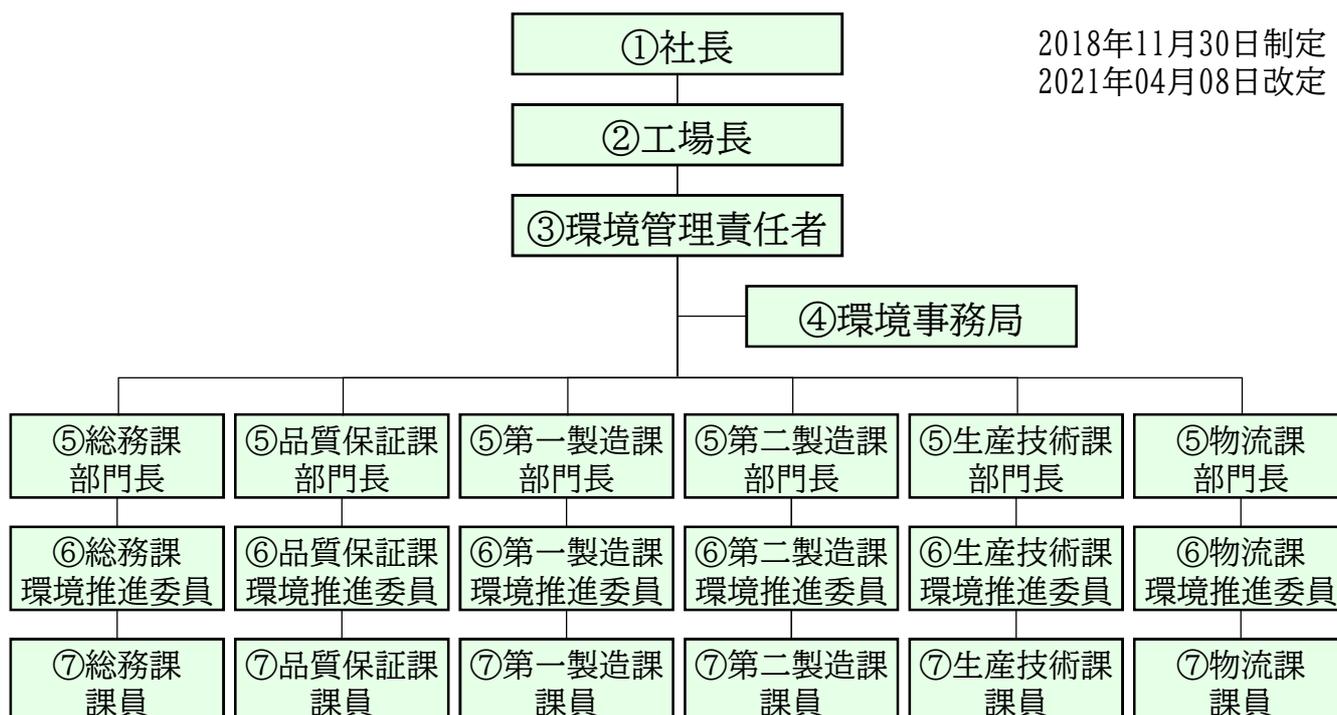
4月～翌年3月

認証・登録の対象範囲

当社で行う全活動、全組織

実施体制 - System -

2018年11月30日制定
2021年04月08日改定



役割	
<p>①社長</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆環境経営に関する統括 ◆環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備 ◆環境経営実施体制の構築 ◆環境管理責任者の任命 ◆経営における課題とチャンスの明確化 ◆環境経営方針の策定・見直し ◆環境経営システムの評価と見直し <p>②工場長</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆社長不在時の代行 <p>③環境管理責任者</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆環境経営システムの構築と運用管理 ◆環境推進委員会の委員長 ◆環境活動の取組結果の社長への報告 ◆更新・中間審査の審査結果を社長へ報告 	<p>④環境事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆環境管理責任者の補佐 ◆環境経営システムに関する事 ◆環境監視数値の集計 ◆環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ◆内部環境監査の実施準備 <p>⑤各課部門長</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自部門における環境経営システムの実施 ◆自部門に関連する環境経営計画の実施・達成状況の認可 ◆自部門に関連する問題点の発見、是正、予防処置 <p>⑥各課環境推進委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自部門の環境経営計画を課内で推進 ◆自部門の環境経営実績を記録し部門長へ報告 ◆内部環境監査の実施（内部監査員） <p>⑦各課課員（全社員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自主的かつ積極的な環境活動への参加
<p>【補足】</p> <p>※ 環境関連文書類の責任・権限については、環境関連文書管理規程に従う</p>	

環境経営方針 - Environmental policy -

基本理念

当社は、環境問題の保全が企業活動における重要課題と認識し、当社が環境に与える影響を社員一人一人が自主的に、継続的に低減するための環境活動に取り組み、自然環境との調和と地域社会との共生を目指します。

方針

1. 環境保全活動として、次の事を重点課題として取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素排出量削減のため、電力・化石燃料等のエネルギーの有効利用と、太陽光などの自然エネルギーの効果的利用を進めます。
 - (2) 循環型社会形成のため、廃棄物の削減とリサイクルの推進に取り組みます。
 - (3) 限りある資源の有効活用のため、生産効率向上と不良率削減に取り組みます。
2. 環境経営目標を設定し、定期的にその効果を評価し、必要に応じて見直しを行うと共に継続的改善に取り組みます。
3. 環境関連の法規制を遵守します。
4. 地域社会との調和を目指して社会貢献活動の推進を行います。
5. 環境への取り組みを環境経営レポートにまとめ公表いたします。

制定日 2014年 4月 1日

改定日 2021年 4月 1日

株式会社 出雲東郷電機

代表取締役社長 前田 和雄

環境経営目標と実績・評価 - Objective -

項目名	2019年度	2020年度			2021年度 目標	2022年度 目標	評価
	実績数値	計画	実績	計画と 実績の差			
1. 二酸化炭素 排出量の削減 (※1)(※2)	857.9 t-CO ₂	555.8 t-CO ₂	510.8 t-CO ₂	▲45.0 t-CO ₂ 削減率 8%	505.8 t-CO ₂	500.8 t-CO ₂	化石燃料（液化石油ガス）使用量は、冬の寒波が激しかった影響で目標未達となりましたが、電気使用量は、空調機の更新やLED化を実施した効果で削減できました。また、太陽光発電の利用開始により二酸化炭素排出量は大きく削減できました。
1-① 電気使用量の削減	120.8 万kWh	119.6 万kWh	119.3 万kWh	▲0.3 万kWh	118.1 万kWh	116.9 万kWh	
1-② 化石燃料使用量の削減 (液化石油ガス【LPG】)	15,040.0 m ³	15,040.0 m ³	15,122.2 m ³	82.2 m ³	15,122.2 m ³	15,122.2 m ³	
2. 廃棄物排出量の削減	38,277.3 kg	37,898.3 kg	35,401.2 kg	▲2,497.1 kg 削減率 7%	37,898.3 kg	37,520.8 kg	3Rの取り組みの継続と、減産により目標達成できました。
2-① 一般廃棄物排出量削減	22,719.6 kg	22,496.4 kg	20,995.0 kg	▲1,501.4 kg	22,496.4 kg	22,271.4 kg	
2-② 産業廃棄物排出量削減	15,557.7 kg	15,401.9 kg	14,406.2 kg	▲995.7 kg	15,401.9 kg	15,249.4 kg	
3. 水使用量の削減 【水道水と井水の使用量削減】	2,297.0 m ³	2,297.0 m ³	1,883.5 m ³	▲413.5 m ³ 削減率 18%	1,695.2 m ³	1,695.2 m ³	節水タイプのトイレへの更新により、水使用量を削減できました。
4. 化学物質使用量の把握 【PRTR制度に該当する第一種指定化学物質の使用量を把握】	10.2 kg	別に定める化学物質管理規定によって適正管理を行う	7.6 kg	-	別に定める化学物質管理規定によって適正管理を行う		化学物質管理規定に沿って適正な管理ができ、使用量の大幅な変化はありませんでした。
5. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善 【廃製品・廃部品の排出量削減】	14.3 kg/月	10.7 kg/月	6.0 kg/月	▲4.7 kg/月	製造部門にて年度毎に改善対象を決めて取り組む		設備改善・品質改善により、目標以上の廃棄量削減ができました。
		※2020年度改善対象の値					

(※1) 二酸化炭素排出量にはガソリン使用量を含むが、二酸化炭素排出量の0.2%と少量の為、環境経営目標は未設定

(※2) 購入電力の排出係数については、2019年度実績は2016年度中国電力実排出係数「0.691kg-CO₂/kWh」を使用、2020年度以降の目標は2018年度中国電力調整後排出係数「0.636kg-CO₂/kWh」を使用

環境経営計画の取組・評価 - Activities -

No.1 二酸化炭素排出量の削減

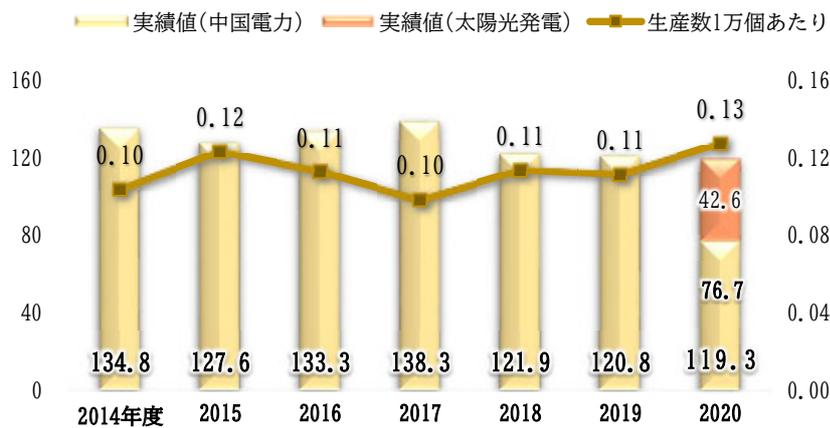
二酸化炭素排出量推移 [単位：t-co₂]



太陽光発電電力の利用により、実績は前年比約40%の削減となりました。1万個当たりでも前年比約30%の削減となりました。

No.1-① 電気使用量の削減

電力使用量推移 [単位：万kWh]



環境経営計画

- ◆ 1号館・2号館のトイレ照明をLED化し、かつ人感センサーでの点灯に変更
- ◆ 不要な電気のコマメな消灯
- ◆ 空調の適正温度管理

取組内容・評価

- ◆ 2号館の一部空調機(室内機10台分)を最新モデルへ更新しました。
- ◆ 1号館と3号館のトイレをLED化し、かつ人感センサーによる点灯に変更し消し忘れ防止対策を行いました。
- ◆ LED化計画の再考を行い、2号館はトイレの代わりに事務所等、より台数が多く使用量の多い箇所を選定し、計画を上回る98台をLED化しました。
- ◆ 不要な電気のコマメな消灯、空調の適正温度管理等、継続的活動も引き続き実施しました。

No.1-② 化石燃料使用量の削減

LPガス使用量推移 [単位：m³]



環境経営計画

- ◆ 1号館の空調機をガス空調⇒省エネタイプの電気空調に更新
- ◆ 空調の適正温度管理

取組内容・評価

- ◆ 1号館については、当初ガス空調から、電気空調への更新を計画していましたが、投資費用や環境性能等を総合的に検討し、最新モデルのガス空調へ更新しました。
- ◆ 冬季の寒波が激しかったため、2020年度は更新効果が数値として現れなかったと思われます。

環境経営計画の取組・評価 - Activities -

No.2-① 一般廃棄物排出量削減

一般廃棄物排出量推移 [単位：kg]



環境経営計画

- ◆ 廃棄物の分別徹底

取組内容・評価

- ◆ 3Rの取り組みの継続と、減産により目標達成できました。
- ◆ 引き続き、廃棄物の分別徹底を行いました。

No.2-② 産業廃棄物排出量削減

産業廃棄物排出量推移 [単位：kg]



環境経営計画

- ◆ セーフティスイッチ廃棄削減
- ◆ 廃棄物の分別徹底

取組内容・評価

- ◆ 設備改善・品質改善によって、ネジの廃棄量を58%削減することができました。
- ◆ 引き続き、廃棄物の分別徹底を行いました。

No.3 水使用量の削減

水使用量推移 [単位：m³]



環境経営計画

- ◆ 1号館・2号館のトイレを節水タイプに変更
- ◆ 節水の徹底

取組内容・評価

- ◆ 12月に1号館東トイレの節水タイプへの改修が完了した事で使用量が削減できました。
- ◆ 3月には1号館西トイレ、3号館トイレの節水タイプへの改修も完了し、2021年度は更なる水使用量の削減が見込めます。
- ◆ 引き続き、節水の徹底を行いました。

太陽光発電電力(グリーン電力)の利用開始

脱炭素

脱炭素社会の実現に向けて

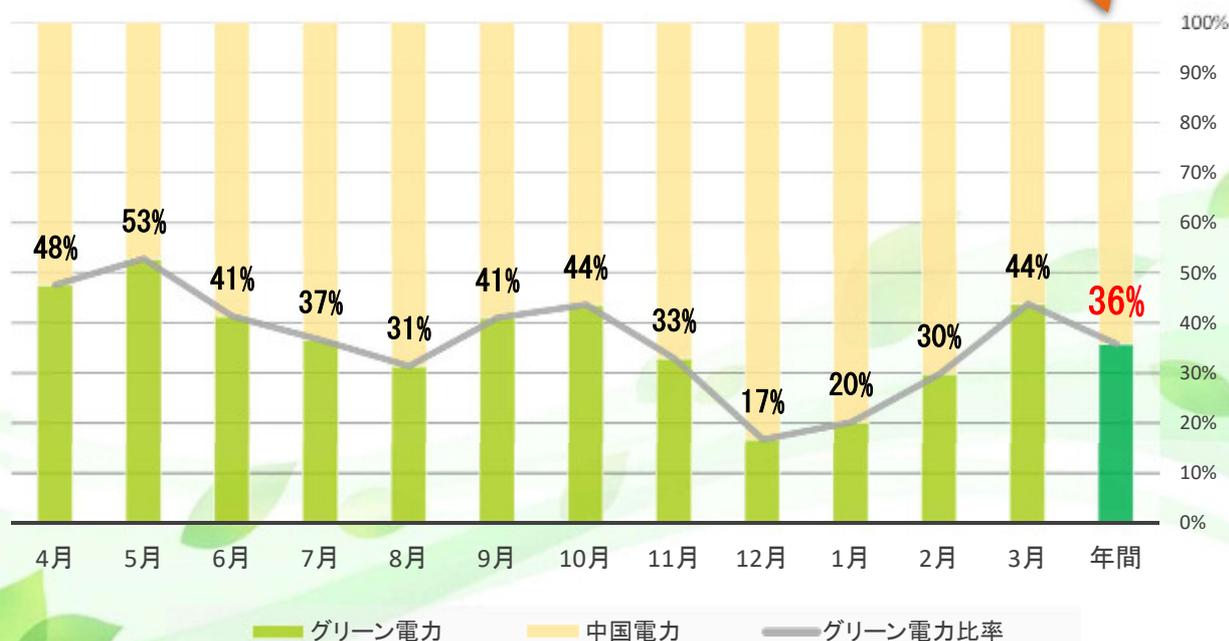
2020年4月からNTTアノードエナジー様のオンサイト型電力供給が稼働し、当社へのグリーン電力の供給が開始されました。
 これにより、当社のグリーン電力率は36%となるとともに、二酸化炭素排出量は、
 約350t-co₂/年削減となりました。
 2020年度の二酸化炭素排出量は2014年度比で53%減を実現しています。



稼働開始 : 2020年4月1日
 設置面積 : 約6,700㎡
 パネル枚数 : 約1,500枚
 年間発電量 : 約60万kwh
 2020年度
 当社グリーン電力化率 : 36%

二酸化炭素排出量
 約350t-co₂/年削減

2020年度 当社グリーン電力使用比率



空調機更新

省エネ

空調機の故障・老朽化に伴い、2020年度は室内機で57台分を省エネタイプへ更新しました。2018年度から段階的に更新を進めており、この3年で当社の空調機を設置しているエリアの約50%の更新が完了しました。

来年度以降も順次更新を行っていきます。



照明のLED化

節電

2019年度までは照明灯具が壊れた箇所を順次LED照明へ更新していましたが、2020年度からは、エリア毎にLED化を進める方針としました。

2020年度は、蛍光灯照明116台のLED化を実施し、2014年度時点で約1,800台あった照明の内、約16%がLED化できました。来年度以降も更新を進めていきます。



トイレ改修

節電

節水

1号館・3号館のトイレ改修に伴い、流量が約70%削減できる節水タイプのトイレに更新をしました。

また、照明は節電を考慮し、LED化するとともに、人感センサーでの点灯にしました。



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される法規制	適用される事項【施設・物質・事業活動】	遵守状況
水質汚濁防止法 【法第14条の2】	・貯油施設、危険物等の事故時の処置と届出	該当なし
浄化槽法 【法第5, 10, 11条】	・浄化槽の保守点検、清掃、排出水水質検査	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法 【法第14条, 16条第1項】	・7.5kW未満は簡易点検を3ヶ月に1回以上実施する ・7.5kW以上50kW未満のエアコンは簡易点検を3ヶ月に1回以上実施し、3年に1回以上業者にて定期点検	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 【法第6条の2, 法12条の2, 3, 5, 12条】	・保管基準の遵守、委託基準の遵守、電子マニフェストの交付	○
出雲市火災予防条例 【条例第31条】	・危険物保管量の管理	○
消防法 【法第9条】	・バルクタンク変更時の届出	該当なし
家電リサイクル法 【法第6条】	・特定家庭用機器廃棄物の収集もしくは運搬をする者 ・又は再商品化等をする者に適切に引き渡す	○

違反等の遵守状況の評価

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
【2021年03月08日確認】

また、創業以来7年間にわたって保健所等関連機関からの違反の指摘及び、地域住民等の利害関係者からの訴訟はありませんでした。

代表者による全体評価と見直しの結果 - Review -

生産活動が企業主体である当社においては、作業効率改善や不良率削減に取り組む事が必須です。それらの取り組みが、省エネや廃棄物量削減等の環境保全活動に繋がると考えます。引き続き改善活動等を通じて、生産性向上及び不良率改善に取り組みましょう。

過去から取り組んでいる不良率削減を環境負荷削減のテーマでもあると認識して、取り組んでいきたいと思います。

次年度の環境経営目標と環境経営計画 - Next year target -

項目名	2020年度	2021年度		2021年度 環境経営計画
	実績数値	増減率	目標数値	
1. 二酸化炭素 排出量の削減	510.8 t-CO ₂	▲1.0 %	505.8 t-CO ₂	【今期取組】 ・1号館、3号館の照明LED化 ・2号館のトイレの照明をLED化し、 かつ人感センサーでの点灯に変更 【継続的活動】 ・未使用時の照明・ディスプレイの電源OFFなど、 節電対応の継続 ・空調機の省エネ運転の継続
1-① 電気使用量の削減	119.3 万kwh	▲1.0 %	118.1 万kWh	
1-② 化石燃料使用量の 削減 (液化石油ガス【LPG】)	15,122.2 m ³	前年度 実績維持	15,122.2 m ³	
2. 廃棄物排出量の 削減	35,401.2 kg	7.1 % ※前年度目標維持	37,898.3 kg	【継続的活動】 ・廃棄物分別徹底の継続
2-① 一般廃棄物排出量 削減	20,995.0 kg	7.2 % ※前年度目標維持	22,496.4 kg	
2-② 産業廃棄物排出量 削減	14,406.2 kg	6.9 % ※前年度目標維持	15,401.9 kg	
3. 水使用量の削減 【水道水と井水の 使用量削減】	1,883.5 m ³	▲10.0 %	1,695.2 m ³	【今期取組】 ・2号館のトイレを節水タイプに更新 【継続的活動】 ・手洗い等での節水対応の継続
4. 化学物質使用量の 把握 【PRTR制度に該当する 第一種指定化学物質 の使用量を把握】	7.6 kg	別に定める化学物質管理規定によって適正管理を行う		
5. 自らが生産・販売 ・提供する製品の 環境性能の向上及 びサービスの改善 【廃製品・廃部品の排 出量削減】	6.0 kg /月 ※2020年度改善対象の値 0.62 kg /月 ※2021年度改善対象の値	- ▲30.0 %	- 0.43 kg /月	製造部門にて年度毎に改善対象を決めて取り組む
その他取り組み	朝礼等での社員への意識づけ、掲示板での情報発信、 エコキャップ運動の継続、古切手回収、 会社近隣のゴミ拾い等			

(※1) 購入電力の二酸化炭素排出係数については、2018年度中国電力調整後排出係数「0.636kg-CO₂/kwh」を使用

IZUMO TOGO

ELECTRONICS Corporation

